



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 エスケー化研株式会社

上場取引所 東

コード番号 4628 URL <http://www.sk-kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 実広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	22,202	1.0	2,678	7.8	3,322	8.6	2,336	13.0
30年3月期第1四半期	22,421	0.3	2,904	6.8	3,058	140.7	2,066	147.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,733百万円 (7.9%) 30年3月期第1四半期 1,605百万円 (1,093.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	173.28	
30年3月期第1四半期	153.21	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	124,429	104,584	84.1	7,757.30
30年3月期	124,783	103,727	83.1	7,693.76

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 104,584百万円 30年3月期 103,727百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		65.00	65.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,600	3.5	5,500	0.0	5,600	6.4	3,920	4.6	290.76
通期	95,000	4.0	11,100	2.6	11,200	1.1	7,840	1.0	581.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	15,673,885 株	30年3月期	15,673,885 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	2,191,792 株	30年3月期	2,191,792 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	13,482,093 株	30年3月期1Q	13,490,271 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景に雇用及び所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策の動向、中国経済をはじめとしたアジア新興国等の景気の下振れリスクなど、不安要素を抱えており、その先行きは依然として不透明な状況であります。

建築塗料業界におきましては、首都圏を中心とした大規模再開発やインバウンドによる宿泊施設等の需要が進行しております。一方、建築現場の慢性的な労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗料や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、222億2百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。利益面におきましては、人件費、原材料費の増加等により、営業利益は、26億78百万円（同7.8%減）、経常利益は、為替変動の影響等により、33億22百万円（同8.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、23億36百万円（同13.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①建築仕上塗料事業

建築仕上塗料事業におきましては、新築需要が減少いたしました。また、リニューアル市場においては超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行いました。売上高は202億65百万円

（同2.0%減）と前四半期連結累計期間に比べて4億16百万円の減収となりました。セグメント利益は30億46百万円（同6.8%減）と前四半期連結累計期間に比べて2億21百万円の減益となりました。

## ②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏の再開発事業における受注が拡大しており、売上高は14億79百万円（同16.4%増）と前四半期連結累計期間に比べて2億7百万円の増収となりました。セグメント利益は1億62百万円

（同12.9%増）と前四半期連結累計期間に比べて18百万円の増益となりました。

## ③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は4億57百万円（同2.3%減）と前四半期連結累計期間に比べて10百万円の減収となりました。セグメント利益は44百万円（同17.0%減）と前四半期連結累計期間に比べて9百万円の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて3億53百万円減少し、1,244億29百万円（前連結会計年度末比0.3%減）となりました。

減少した主なものは、土地2億23百万円（同2.7%減）、現金及び預金1億32百万円（同0.2%減）、増加した主なものは、受取手形及び売掛金2億1百万円（同1.0%増）であります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて12億10百万円減少し、198億44百万円（同5.8%減）となりました。

減少した主なものは、賞与引当金9億48百万円（同65.2%減）、未払法人税等7億70百万円（同54.0%減）、増加した主なものは、流動負債のその他10億6百万円（同75.0%増）であります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて8億56百万円増加し、1,045億84百万円（同0.8%増）となりました。

増加した主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益を含む利益剰余金14億59百万円（同1.4%増）、減少した主なものは、為替換算調整勘定6億6百万円（同54.8%減）であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、平成30年5月11日に公表しました平成31年3月期の連結業績予測（第2四半期（累計）及び通期）に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,771	78,638
受取手形及び売掛金	19,704	19,906
商品及び製品	1,933	2,005
仕掛品	1,017	1,089
未成工事支出金	198	264
原材料及び貯蔵品	4,193	4,275
その他	424	537
貸倒引当金	△54	△53
流動資産合計	106,189	106,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,416	4,319
機械装置及び運搬具(純額)	608	565
土地	8,386	8,162
建設仮勘定	226	225
その他(純額)	85	77
有形固定資産合計	13,723	13,350
無形固定資産	1,172	1,105
投資その他の資産		
投資有価証券	14	13
繰延税金資産	912	531
退職給付に係る資産	565	571
その他	2,380	2,358
貸倒引当金	△176	△165
投資その他の資産合計	3,697	3,309
固定資産合計	18,593	17,765
資産合計	124,783	124,429

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,596	5,498
短期借入金	3,030	3,030
未払金	5,557	5,167
未払法人税等	1,427	656
賞与引当金	1,455	506
役員賞与引当金	67	16
製品保証引当金	44	51
その他	1,342	2,349
流動負債合計	18,522	17,277
固定負債		
繰延税金負債	56	57
役員退職慰労引当金	1,133	1,139
退職給付に係る負債	68	68
その他	1,275	1,301
固定負債合計	2,532	2,567
負債合計	21,055	19,844
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	106,376	107,836
自己株式	△9,512	△9,512
株主資本合計	102,663	104,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	1,106	500
退職給付に係る調整累計額	△43	△40
その他の包括利益累計額合計	1,064	461
純資産合計	103,727	104,584
負債純資産合計	124,783	124,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	22,421	22,202
売上原価	15,365	15,335
売上総利益	7,056	6,867
販売費及び一般管理費	4,151	4,189
営業利益	2,904	2,678
営業外収益		
受取利息	71	64
受取配当金	0	0
仕入割引	16	18
為替差益	44	524
雑収入	26	41
営業外収益合計	159	648
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	0	0
雑損失	2	2
営業外費用合計	6	5
経常利益	3,058	3,322
税金等調整前四半期純利益	3,058	3,322
法人税、住民税及び事業税	526	602
法人税等調整額	465	383
法人税等合計	991	985
四半期純利益	2,066	2,336
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,066	2,336

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	2,066	2,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	△466	△606
退職給付に係る調整額	5	3
その他の包括利益合計	△460	△603
四半期包括利益	1,605	1,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,605	1,733
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自平成29年 4 月 1 日 至平成29年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,682	1,271	21,953	467	22,421	—	22,421
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	0	△0	—
計	20,682	1,271	21,954	467	22,422	△0	22,421
セグメント利益	3,267	143	3,411	53	3,465	△560	2,904

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△560百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自平成30年 4 月 1 日 至平成30年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,265	1,479	21,745	457	22,202	—	22,202
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	0	△0	—
計	20,265	1,479	21,745	457	22,203	△0	22,202
セグメント利益	3,046	162	3,208	44	3,253	△575	2,678

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△575百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。